

■ 公営企業部

Ⅱ 環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり

§ 10 快適で暮らしやすい生活環境づくり

○第1次拡張事業【御坂浄水場関連送・配水管整備事業】	・ ・ ・ ・ ・	No.10-22
○水道建設事業【配水管布設・布設替、水道施設更新事業】	・ ・ ・ ・ ・	No.10-23
○上水道総務事業【水道水の安定供給のために】	・ ・ ・ ・ ・	No.10-24
○水道使用料徴収事業【水道・下水道・温泉使用料徴収事業】	・ ・ ・ ・ ・	No.10-25
○簡易水道事業総務事務【水道水の安定供給のために】	・ ・ ・ ・ ・	No.10-26
○使用料徴収事業【簡易水道・農業集落排水施設使用料徴収事業】	・ ・ ・ ・ ・	No.10-27
○公共下水道整備事業【下水道未普及地域への新設】	・ ・ ・ ・ ・	No.10-28
○公共下水道維持管理事業【下水道施設の効率的で最適な管理】	・ ・ ・ ・ ・	No.10-29
○農業集落排水事業【芦川地区の排水施設維持管理】	・ ・ ・ ・ ・	No.10-30

事務事業名	第1次拡張事業					部局名	公営企業部	所属課	水道課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	工務担当	課長名	有賀 滋一
法令根拠	水道法 笛吹市水道事業給水条例					個別計画	笛吹市水道事業基本計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	事業期間	期間限定複数年度(H21年度～H31年度)		
	上水道	1	1	2					

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要および主な事業費の内訳(平成28年度実績) 水道水を安定して供給するため、笛吹畑かんを水源とする浄水施設や関連する配水施設等を整備し、地区間の連絡管を整備する。 平成28年度の主な事業費(単位:千円) 工事費 121,366 委託料 21,802 ※ 繰越事業費 平成27年度→平成28年度 124,722千円 平成28年度→平成29年度 63,176千円						(3)平成29年度の具体的な目的・目標 【目的】 ・安心安全な水道水を、市民に安定して供給する。 【目標】(数値化できるものは数値目標) ・新規計画の浄水量12,460m ³ /日に対し、浄水量11,150m ³ /日 ・上水道普及率 97%				
(2) 総事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)	(4)平成29年度の実施計画				
投入量	事業費	国庫支出金	千円			・石和町地内3箇所の配水池流入管・設備工事を行い、石和町への送水を開始する。 ・一宮町市之蔵配水場への送水管布設工事 L=1,400m ・境川浄配水場からの送・配水管布設工事 L=400m				
		県支出金	千円							
		地方債	千円	117,200	70,300					124,000
		その他	千円	117,200	70,300					124,000
		一般財源	千円	32,248	2,568					
	事業費計(A)	千円	266,648	143,168	248,000					
	人件費	正規職員延従事人数	人	3.00	3.00	3.00				
人件費計(B)		千円	20,580	20,895	20,895					
トータルコスト(A)+(B)		千円	287,228	164,063	268,895					
補助事業等										

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載。	
1次評価者【課長・局長】 送・配水管の整備を行い御坂浄水場から下野原配水場への送水及び下野原配水場からの配水が可能となり、水道水の安定供給を図ることができた。今後も浄水場の能力を有効活用するため、送・配水管の整備及び配水池流入管・設備の整備を早期に行い、水道水の安定供給を図る。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 送・配水管及び配水池流入管・設備の整備を実施し、より安心安全な水道水供給を推進していく。	
(2) 平成28年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 新規計画の浄水量11,150m ³ /日 水道普及率97% <input type="checkbox"/> 目標どおり達成できた <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった	
境川・御坂浄水場は完成し、新規の浄水可能量は、11,150m ³ /日となっており、供給を開始している。水道普及率は、97%となっている。	

事務事業名	水道建設事業					部局名	公営企業部	所属課	水道課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	工務・維持担当	課長名	有賀 滋一
法令根拠	水道法 笛吹市水道事業給水条例					個別計画	笛吹市水道事業基本計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	上水道	1	1	1					

1 現状把握 (PLAN) (DO)

<p>(1)事務事業概要および主な事業費の内訳(平成28年度実績)</p> <p>水道事業のうち配水管等の整備を行う事業。上水道計画区域内に新たに配水管を整備すると共に老朽化した配水管の布設替を行っている。また、老朽化した水道施設の更新を行っている。</p> <p>平成28年度の主な事業費(単位:千円) 工事費 354,188 委託料 15,617 負担金 18,000 ※ 繰越事業費 平成27年度→平成28年度 13,916千円 平成28年度→平成29年度 38,958千円</p>						<p>(3)平成29年度の具体的な目的・目標</p> <p>【目的】 ・安心安全な水道水を、市民に安定して供給する。</p> <p>【目標】(数値化できるものは数値目標) ・漏水発生件数 115件 ・上水道普及率 97%</p>																																																								
<p>(2) 総事業費の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度 (決算)</th> <th>28年度 (決算見込)</th> <th>29年度 (当初予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">事業費 投入量</td> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>260,100</td> <td>209,700</td> <td>126,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>106,678</td> <td>57,610</td> <td>86,697</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>134,406</td> <td>120,495</td> <td>218,425</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>501,184</td> <td>387,805</td> <td>431,122</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>正規職員延従事人数</td> <td>人</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>27,440</td> <td>27,860</td> <td>27,860</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>528,624</td> <td>415,665</td> <td>458,982</td> </tr> </tbody> </table>								単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)	事業費 投入量	事業内訳	国庫支出金	千円			県支出金	千円			地方債	千円	260,100	209,700	126,000	その他	千円	106,678	57,610	86,697	一般財源	千円	134,406	120,495	218,425	事業費計(A)	千円	501,184	387,805	431,122	人件費	正規職員延従事人数	人	4.00	4.00	4.00	人件費計(B)	千円	27,440	27,860	27,860	トータルコスト(A)+(B)		千円	528,624	415,665	458,982	<p>(4)平成29年度の実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道工事・道路改修等に併せた配水管等の新規布設及び布設替 L=1,630m ・老朽化した水道配水管の布設替 L=2,470m ・老朽水道施設・設備の更新 10箇所 ・舗装本復旧工事 			
		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)																																																									
事業費 投入量	事業内訳	国庫支出金	千円																																																											
		県支出金	千円																																																											
		地方債	千円	260,100	209,700	126,000																																																								
		その他	千円	106,678	57,610	86,697																																																								
		一般財源	千円	134,406	120,495	218,425																																																								
	事業費計(A)	千円	501,184	387,805	431,122																																																									
人件費	正規職員延従事人数	人	4.00	4.00	4.00																																																									
	人件費計(B)	千円	27,440	27,860	27,860																																																									
トータルコスト(A)+(B)		千円	528,624	415,665	458,982																																																									
補助事業等																																																														

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

<p>(1) 全体総括※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載。</p>	
<p>1次評価者【課長・局長】</p> <p>水道水の安定供給のため配水管の新規布設及び老朽化に伴う漏水対策として配水管の布設替を行っている。また、布設・布設替管路について、耐震管を用いることにより耐震化率の向上を図る。しかし、事業費の抑制もあり、管路更新・施設機器の更新はあまり進んでいない。</p>	
<p>2次評価者【部長・消防長・支所長】</p> <p>配水管等の新設布設及び老朽化による布設替を実施し、安心安全な水道水の供給に努めた。引き続き効率的に事業を推進し有収率の向上を図るとともに、耐震化を進めていく。</p>	
<p>(2) 平成28年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)</p> <p>目標 漏水発生件数 120件 水道普及率 97%</p> <p><input type="checkbox"/> 目標どおり達成できた <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった</p> <p>漏水発生件数は、約110件と逡減した。また、本年度は、漏水調査により大きな漏水の発見があった。水道普及率は、97%となっている。</p>	

事務事業名	上水道総務事業					部局名	公営企業部	所属課	業務課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	総務担当	課長名	早川 義彦
法令根拠	地方公営企業法・地方公営企業施行令・地方公営企業法施行規則					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	上水道	1	1	4					

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要および主な事業費の内訳(平成28年度実績) 水道水の安定供給が図れるように、サービス供給の合理化を図り、安定した運営を推進するための総務事務全般。 ◇主な事業費(単位:千円) 委託料 3,771 通信運搬費 542 印刷製本費 258						(3)平成29年度の具体的な目的・目標 【目的】 ◇水道事業の安定した運営 【目標】(数値化できるものは数値目標) ◇水道料金の今後のあり方について、上下水道事業審議会の意見を聴きながら結論を出す。					
(2) 総事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)	(4)平成29年度の実施計画 ◇「笛吹市上下水道事業審議会」において、水道料金の今後のあり方について協議してもらう。 ◇笛吹市上下水道事業審議会 開催予定 5回 ◇水道料金について、市長からの諮問に対して、答申を頂く。					
投入量	事業費	国庫支出金	千円								
		財源内訳									
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	2,408	2,498	3,375					
	一般財源	千円	4,354	5,553	5,553						
	事業費計(A)	千円	6,762	8,051	8,928						
人件費	正規職員延従事人数	人	4.00	4.00	4.00						
	人件費計(B)	千円	27,440	27,860	27,860						
トータルコスト(A)+(B)		千円	34,202	35,911	36,788						
補助事業等											

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載。											
1次評価者【課長・局長】 ◇日々の会計処理は適切に行っているが、過去数年間、当期純利益がマイナスとなっており、安定した経営を目指すには、早急に打開策を検討する状況にある。市としての方針案を示した上で、上下水道事業審議会において協議していただき、今後の方向性を決めていきたい。											
2次評価者【部長・消防長・支所長】 水道水の安定供給が図れるように、安定した運営を推進するためには、料金改定も考えて行かなければならない状況にある。今後、上下水道事業審議会の意見を参考に、早急に市としての方向性を決めていきたい。											
(2) 平成28年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)											
目標 当期純利益 △29,223千円、漏水修理件数 340件											
<input type="checkbox"/> 目標どおり達成できた <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった											
目標に対し、漏水修理件数は、367件であり目標を達成することができなかった。当期純利益については、△1,770千円と目標を大幅に上回ることができたが、依然として安定した経営とは言えない厳しい状況にある。また、供給単価が給水原価を大きく下回っており、料金収入だけでは、安定した経営が難しいと考える。											

事務事業名	水道使用料徴収事業					部局名	公営企業部	所属課	業務課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	料金担当	課長名	早川 義彦
法令根拠	水道事業給水条例・公共下水道使用料等徴収条例 ・春日居地区温泉給湯使用料等徴収条例					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	上水道	1	1	4					

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要および主な事業費の内訳(平成28年度実績)		(3)平成29年度の具体的な目的・目標					
<p>◇条例に基づき使用者から使用料を徴収しています。効率化と経費削減を図るため、民間への業務委託の導入へ向け業者選定を行い、準備に取り掛かりました。</p> <p>◇主な事業費(単位:千円) 委託料 2,130 手数料 4,179 印刷製本費 2,093 通信運搬費 3,060</p>		<p>【目的】 ◇水道事業の安定した運営</p> <p>【目標】(数値化できるものは数値目標) ◇水道使用料収納率 現年96%、過年33%を目標。 ◇下水道使用料収納率 現年96%、過年33%を目標。 ◇温泉使用料収納率 現年96%、過年33%を目標。</p>					
(2) 総事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)	(4)平成29年度の実施計画 ◇平成29年4月より、料金担当業務について、民間事業者へ委託し、「笛吹市上下水道料金センター」を設置する。	
事業費 投入量	事業内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	3,893	6,586		26,763
		一般財源	千円	26,992	25,233		65,086
事業費計(A)		千円	30,885	31,819	91,849		
人件費	正規職員延従事人数	人	5.00	5.00	1.00		
	人件費計(B)	千円	34,300	34,825	6,965		
トータルコスト(A)+(B)		千円	65,185	66,644	98,814		
補助事業等							

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載。	
<p>1次評価者【課長・局長】</p> <p>◇事務の効率化と経費削減を図るため、平成29年度より民間事業者への業務委託導入へ向け業者選定を行い、準備に取り掛かりました。今後、「笛吹市上下水道料金センター」について住民への周知と、円滑な運営が行えるよう監視して行くことが必要です。</p>	
<p>2次評価者【部長・消防長・支所長】</p> <p>民間事業者への業務委託に向け、業者選定を行い、決定後は、万全の準備を進めてきた。今後、「笛吹市上下水道料金センター」の設置により、今まで以上に効率的な事務処理を行い、収納率の向上へと繋がる事を期待している。</p>	
(2) 平成28年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
<p>目標 戸別訪問件数 4,000件 使用者数 40,400人 収納率 88%</p> <p><input type="checkbox"/> 目標どおり達成できた <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった</p> <p>戸別訪問件数4,200件、使用者数40,212人、収納率96%で、ほぼ目標達成出来た。</p>	

事務事業名	簡易水道事業総務事務					部局名	公営企業部	所属課	業務課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	総務担当	課長名	早川 義彦
法令根拠	簡易水道事業給水条例					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	簡易水道	1	1	1					

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要および主な事業費の内訳(平成28年度実績) 簡易水道事業の水道水の安定供給が図れるように、サービス供給の合理化を図り、安定した運営を推進するための総務事務全般。 ◇主な事業費(単位:千円) 償還金 22						(3)平成29年度の具体的な目的・目標 【目的】 ◇簡易水道事業の安定した運営 【目標】 (数値化できるものは数値目標) ◇簡易水道料金の今後のあり方について、上下水道事業審議会の意見を聴きながら結論を出す。					
(2) 総事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)	(4)平成29年度の実施計画 ◇「笛吹市上下水道事業審議会」において、簡易水道料金の今後のあり方について協議してもらおう。 ◇笛吹市上下水道事業審議会 開催予定 5回 ◇簡易水道使用料について、市長からの諮問に対して、答申を頂く。					
事業費 投入量	事業内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	185	29						795
		一般財源	千円								
事業費計 (A)		千円	185	29	795						
人件費	正規職員延従事人数	人	0.10	0.10	0.10						
	人件費計 (B)	千円	686	697	697						
トータルコスト(A)+(B)		千円	871	726	1,492						
補助事業等											

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載。					
1次評価者【課長・局長】 ◇日々の会計処理は適切に行なっているが、料金設定が過去数年間変わらず、一般会計からの赤字補てんに頼っている状況である。上水道料金との差があまり生じないよう、早急に検討する必要がある。市としての方針案を示した上で、上下水道事業審議会において協議していただき、今後の方向性を決めていきたい。					
2次評価者【部長・消防長・支所長】 料金設定が過去数年間変わらず、今後、安定経営を図るためには、上水道事業との料金格差解消を検討する必要がある。今後、上下水道事業審議会の意見を参考に、早急に市としての方向性を決めていきたい。					
(2) 平成28年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)					
目標 漏水処理件数 10件、収納率 95% <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり達成できた <input type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった					
漏水改修件数5件、収納率96%と目標達成できた。					

事務事業名	使用料徴収事業					部局名	公営企業部	所属課	業務課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	料金担当	課長名	早川 義彦
法令根拠	簡易水道事業給水条例・農業集落排水施設条例					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	簡水・農集	1	1	1					

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要および主な事業費の内訳(平成28年度実績)		(3)平成29年度の具体的な目的・目標				
<p>◇条例に基づき簡易水道、農業集落排水の使用者から使用料を徴収しています。</p> <p>◇主な事業費(単位:千円) 印刷製本費 109 手数料 7 委託料 12</p>		<p>【目的】 ◇簡易水道事業、農業集落排水事業の安定した運営</p> <p>【目標】(数値化できるものは数値目標) ◇簡易水道使用料収納率 現年99%、過年73%を目標。 ◇農業集落排水使用料収納率 現年99%、過年50%を目標。</p>				
(2) 総事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)	(4)平成29年度の実施計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円			◇平成29年4月より、料金担当業務について、民間事業者へ委託し、「笛吹市上下水道料金センター」を設置する。
		財源内訳				
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	115	128	
	一般財源	千円				
	事業費計 (A)	千円	115	128	711	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.10	0.10	0.10	
	人件費計 (B)	千円	686	697	697	
トータルコスト(A)+(B)		千円	801	825	1,408	
補助事業等						

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載。	
<p>1次評価者【課長・局長】</p> <p>◇事務の効率化と経費削減を図るため、平成29年度より民間事業者への業務委託導入に向け業者選定を行い、準備に取り掛かりました。今後、「笛吹市上下水道料金センター」について住民への周知と、円滑な運営が行えるよう監視して行くことが必要です。 今後も滞納者に対して、通知の送付、臨戸訪問を行い納付を促して行きます。</p>	
<p>2次評価者【部長・消防長・支所長】</p> <p>民間事業者への業務委託に向け、業者選定を行い、決定後は、万全の準備を進めてきた。今後、「笛吹市上下水道料金センター」の設置により、今まで以上に効率的な事務処理を行い、収納率の向上へと繋がる事を期待している。</p>	
(2) 平成28年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
<p>目標 収納率 95%</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり達成できた <input type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった</p> <p>戸別訪問数20件、使用者数616人、収納率97%と目標どおり達成できた。</p>	

事務事業名	公共下水道整備事業					部局名	公営企業部	所属課	下水道課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	施設担当	課長名	土屋 伝二
法令根拠	下水道法					個別計画	「流域別下水道整備総合計画」 「峡東流域下水道計画」		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	下水道	1	1	1					

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要および主な事業費の内訳(平成28年度実績)						(3)平成29年度の具体的な目的・目標										
・下水道計画は、昭和52年に基本計画が策定され「峡東流域下水道計画」の関連公共下水道として計画が進められ、現在の笛吹市全体計画は3,299.2ha、この内事業認可は2,512.8haとなっている。 ◇主な事業費(単位:千円) 工事請負費 200,000 委託費 24,711 補償費 117,858						【目的】 市民が生活排水を処理でき、公共用水域の水質が保全される。 【目標】(数値化できるものは数値目標) 施工延長 L=1,800m 普及率 65%										
(2)総事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)	(4)平成29年度の実施計画										
投入量	事業費	国庫支出金	千円	86,208	72,100	108,690	・平成29年度の主な事業費(単位:千円) 事業費 ・工事請負費 235,700 ・委託費 64,600 ・補償費 66,700 ・施行延長 L=1,829m ・施行面積 A=8.29ha									
		県支出金	千円													
		地方債	千円	220,000	333,900	288,500										
		その他	千円	78,363	58,275	86,329										
		一般財源	千円													
	事業費計(A)		千円	384,571	464,275	483,519										
	人件費	正規職員延従事人数	人	4.10	4.10	4.10										
		人件費計(B)	千円	42,228	38,482	38,760										
	トータルコスト(A)+(B)		千円	426,799	502,757	522,279										
	補助事業等		社会資本整備総合交付金													

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1)全体総括※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載。									
1次評価者【課長・局長】 県の「流域別下水道整備総合計画」及び笛吹市、山梨市、甲州市、甲府市(旧中道)が構成市となる「峡東流域下水道計画」に基づき「笛吹市公共下水道基本計画」を策定し、目標年次を県、及び構成市と整合性をとり、平成32年度と設定し、整備を行っている。公共下水道財政健全化計画に基づき、現在は起債の償還に重点を置き、整備事業費は、最盛期の4分の1程度の3億円に抑えて事業実施している。平成27年度時点で2,012ha完了している。 下水道の建設を心待ちにしている市民のために、順次整備を進めてゆく。 整備が進み、下水道に接続することで、笛吹市の河川、水路の水質向上につながり、安全で衛生的な市民生活を推進できる。									
2次評価者【部長・消防長・支所長】 財源が限られている中で、家屋密集地を優先的に整備し、建設コストの削減に関する調査、研究を行い、普及率を向上させる。									
(2)平成28年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)									
目標 下水道普及率 64.0% <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり達成できた <input type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった									
平成27年度公共下水道普及率は63.2%で平成28年度目標普及率は64.0%を計画した。下水道工事も順調に進み平成28年度普及率は64.2%となり、目標どおり達成できた。									

事務事業名	公共下水道維持管理事業					部局名	公営企業部	所属課	下水道課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	管理担当	課長名	土屋 伝二
法令根拠						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	下水道	1	1	1					

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要および主な事業費の内訳(平成28年度実績)					(3)平成29年度の具体的な目的・目標				
・公共下水道管渠施設(管渠、柵、ポンプ等)の維持管理内容 ○緊急時 下水道管やポンプの詰りが発生し、早急な復旧を行う緊急時の場合は緊急工事指示書により、業者を手配し、早急な改善復旧を行う。 ○通常時 ①通常時には定期的にMP場の管理と点検・清掃(年2回実施) ②MP本体の経年劣化により、頻繁にトラブルや故障が発生しているMPやそれに関連する部品の交換も随時行う。 ◇主な事業費(単位:千円) マンホールポンプ管理委託料 8,726 マンホールポンプ修繕費 11,000 マンホールポンプ非常通報装置電話料 3,240					【目的】 ・保守管理による定期点検及び清掃 ・補修、修繕 ・年2回の保守点検報告を踏まえ、現状の洗い出し ・施設の緊急対応 【目標】(数値化できるものは数値目標) 事故及び故障箇所について、緊急対応により、市民への影響を0件に防ぐ				
(2) 総事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)	(4)平成29年度の実施計画			
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円			☆公共下水道汚水管渠施設(管渠、柵、ポンプ等)の維持管理事業 ☆緊急時での対応 ①下水道管やポンプの詰りや陥没等により、緊急通報や利用者からの連絡(緊急工事指示書により早急に復旧を行う) ②現場での状況確認(保守委託業者及び担当者) ③業者手配(保守範囲内で対応できない場合、担当課で判断し手配)(緊急指示書) ④警察・管理者への協議、連絡等) ☆通常時 ①年2回の保守点検報告書に基づき、ヒアリングを実施し、次年度に向けての改善対応を検討する。 ②市内102×2個=204個のMPがあり、老朽化が進んでいる箇所から随時取替(交換)を毎年4~6個を交換する計画			
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	46,000	61,155				
	事業費計(A)	千円	46,000	61,155	66,710				
人件費	正規職員延従事人数	人	2.00	1.50	1.50				
	人件費計(B)	千円	13,720	10,448	10,448				
トータルコスト(A)+(B)		千円	59,720	71,603	77,158				
補助事業等									

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載。	
1次評価者【課長・局長】 下水道の管渠、マンホールポンプ等の下水道施設機能が永続的に維持でき、下水道を安定的に利用できるようにする為、必要な事業である。昭和54年からの事業であり、既に38年経過しており、特にマンホールポンプは、標準耐用年数を越えているものが多数ある。このマンホールポンプを計画的に交換している。 廃止、休止をすると、下水道の安定的な利用が出来なくなり、市民の生活に多大な影響がでる。 しかし、経費削減に関して、更に研究をすすめ、改善すべきところは、積極的に行っていく。	
建設事業費は、財政健全化計画により、事業費を抑えて、起債の償還に重点をおいているが、昭和54年から施工した施設は、耐用年数を超え、経年劣化している。今後、この維持管理、主に市内102箇所204個のマンホールポンプの入替えに多額の費用が必要となってくる。経費削減に関して、更に研究を進め、改善すべきところは、積極的に行っていく。	
(2) 平成28年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 事故及び故障箇所について、緊急対応により、市民への影響を防ぐ 6件以内 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり達成できた <input type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった	
32件の緊急対応があり緊急工事指示書によるマンホールポンプ引上げ修理を行ったが、施設上の問題ではなく、マンホールポンプの詰まりによる異物除去が主なものであったため、キッチン等から汚水が噴き出す等、市民への影響は、0件に防ぐ事ができた。	

事務事業名	農業集落排水事業					部局名	公営企業部	所属課	下水道課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	管理担当	課長名	土屋 伝二
法令根拠	笛吹市農業集落排水施設条例及び笛吹市農業集落排水施設条例施行規則					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	22	1	1	1					

1 現状把握 (PLAN) (DO)

<p>(1)事務事業概要および主な事業費の内訳(平成28年度実績)</p> <p>・芦川町の3ヶ所に排水処理施設が設置してある。3施設に関わる各マンホールポンプ及び排水処理場の施設の老朽化が著しく進んでおり、老朽化の激しいものから、順次修理、交換している。</p> <p>◇主な事業費(単位:千円) 施設修繕費 13,907</p> <p>上芦川処理施設にある真空ポンプ1基の交換 動力制御盤の機器類の交換</p>						<p>(3)平成29年度の具体的な目的・目標</p> <p>【目的】 3施設の処理場及びMPの維持管理 芦川地区の住民に汚水処理の関係で迷惑がかからない維持管理をする。</p> <p>【目標】 (数値化できるものは数値目標) 芦川町の農業集落排水施設の維持管理を行っていく。 数値目標 修繕等を迅速に行い、汚泥の噴出事故を0にする。</p>					
(2) 総事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算見込)	29年度 (当初予算)	(4)平成29年度の実施計画					
投入量	事業費	国庫支出金	千円			・平成29年度施設修繕計画					
		県支出金	千円			①上芦川真空マンホールポンプ用水位計の修繕					
		地方債	千円			②鶯宿マンホールポンプの修繕(絶縁抵抗の低下によるもの)					
		その他	千円	9,061	6,523	5,927	③中継用マンホールポンプ水位計の交換(老朽化のため)				
		一般財源	千円	8,170	12,482	7,604	・その他				
	事業費計(A)	千円	17,231	19,005	13,531	・施設処理場の維持管理業務委託 ・農業集落排水マンホールポンプ保守管理業務委託 ・3施設の処理場汚泥汲み取り業務委託					
人件費	正規職員延従事人数	人	0.30	0.30	0.30						
	人件費計(B)	千円	2,058	2,090	2,090						
トータルコスト(A)+(B)		千円	19,289	21,095	15,621						
補助事業等											

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載。									
<p>1次評価者【課長・局長】</p> <p>上芦川、中芦川、鶯宿の3処理施設は、平成7年度に、農林水産省から事業の採択を受け、補助金を活用して整備し、平成10年11年に事業が完了し、供用開始した施設である。処理区域面積22ha,管きょ延長13kmの施設である。既に19年経過しており、施設の経年劣化による老朽化が進んでいる。芦川地区の全ての世帯の汚水処理をしている施設なので、廃止或いは休止することは、出来ない状況である。維持管理の保守点検を業者に委託しており、定期点検で不具合が生じた器機から順次修理、交換している。今後は、施設、マンホールポンプ、管きょについて、機能点検を行い、最適な整備構想を策定する。</p>									
<p>2次評価者【部長・消防長・支所長】</p> <p>農業集落排水に係わる全ての施設等について、現在の機能点検を行い、最適な整備構想を策定し、費用効果を含めた検討を行い、施設の長寿命化とコスト削減を行う。</p>									
(2) 平成28年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)									
<p>目標 修繕等を迅速に行い、汚泥の噴出事故を0に防ぐ。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり達成できた <input type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった</p> <p>汚泥の家庭での噴出事故は0に防ぐことが出来た。特に、老朽化等で修繕や部品交換が必要な箇所については、真空ポンプ、及び動力制御盤の機器の交換を行った。</p>									